

国際関係学教育における学士力の考察

【到達目標】

- | |
|---|
| 1. 国家、地域、国際組織、多国籍企業、NGOなどで構成される国際関係の基本的な仕組みとその背景を理解できる。 |
|---|

【コア・カリキュラムのイメージ】

国際関係論、国際関係史、国際政治、国際法、国際経済など

【到達度】

- ① 国際社会におけるさまざまな行為主体の概念と定義を理解している。
- ② 基本的な国際関係の事実を理解している。
- ③ 国際政治・経済・社会・法における基本的原理を理解している。

【測定方法】

- ①から③は、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。

【到達目標】

- | |
|---|
| 2. 国際的な事象・課題などについて、国家、地域、国際社会の観点から調査し、多元的価値・複合的な視点から分析・説明できる。 |
|---|

【コア・カリキュラムのイメージ】

国際社会論、国際組織論、国際開発論、平和論、地域研究、比較文化論、現代日本論、国益論、安全保障論、人間の安全保障、ナショナリズム、アイデンティティ、ゲーム理論など

【到達度】

- ① 国際的問題あるいは課題の発見、把握のために適切な文献検索・資料を収集・整理できる。
- ② 正確な情報にもとづいて科学的・客観的な手法で分析できる。
- ③ 多元的な価値に配慮し、理論の比較などによる複合的な視点に立って、考察・評価できる。

【測定方法】

- ①と②は、文献研究、フィールドワーク、情報処理などを評価の観点とし、レポートなどにより、確認する。
- ③は、ワークショップ、グループ討論、プレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

- | |
|--|
| 3. 国際社会と国家、個人などとの関係を認識し、地球的規模で人類共通の問題解決に向け、支え合う態度を身に付ける。 |
|--|

【コア・カリキュラムのイメージ】

地球環境論、紛争解決論、平和構築論、国際協力論、異文化交流論、開発経済学、国際コミュニケーション、少人数演習（ゼミ）、フィールド・スタディー、インターンシップなど

【到達度】

- ① 国際平和を連携・協調して実現する価値を説明できる。
- ② 地球的問題群を理解し、具体的な課題に対する政策提言ができる。
- ③ 政策提言を踏まえて議論し、自己修正できる。

【測定方法】

- ①から③は、論述式の筆記試験、レポート、グループ討論、ロールプレイングによるシミュレーション、卒業論文、卒論報告会、合評会などにより、確認する。